



「阪神高速^{あす}未来へのチャレンジプロジェクト」
第1回助成・事業実施報告書

1. 基本事項

団 体 名	特定非営利活動法人ここからKit		
事 業 名 称	子育て世代が主役となる災害に強いまちづくり推進事業	助成額	50万円
申請事業の概要	2018年台風21号の被災経験から防災が高まっている子育て世代が主体となって、地縁組織と連携して防災を考える場づくりや講座を開催し、地域住民に対して「知っていれば守れるいのちがある」を伝えます。		
申請事業の目的	これから起こりうる災害に対して、子育て世代が防災意識を高め、まず自分自身で身を守ることや、地域につながっていくことの大切さや学びながら、その中で男性中心の地域防災の現場で、子育て世代が自ら防災について伝え、広めていくことを目指します。 子育て世代の参加を促し、「支援される側」ではなく「共に創る仲間」を増やししながら、あらゆる災害に負けないまちづくりを目指したいと考えています。		
関連するSDGs目標	 		

2. 助成事業の実績・成果等について

【助成期間に実施した事業の内容】

1. 主催セミナー開催

①令和4年4月19日（火）10:00～12:00（参加者14人）

テーマ「地域を知った地震防災」講師：（特）日本防災士会 全国講師 木村郁夫さん

講師の木村さんは岸和田市在住で岸和田災害ボランティアネットワークでのご縁で（事務局ここからKitも加入）講師をしていただく。自分たちの地域の環境と危険度を話し合いリアルに発災時の初動行動など話し合いました。3.11の時の津波、地震の揺れなど映像を見ながら巨大地震がきたら町はどうなるのかということを詳しく教えていただく。

成果・効果：災害の怖さと共に防災への取り組みが一層大事なことがわかり、何を今しなければいけないのか、学んだ具体的な行動を忘れないように実践していきたいと思いました。

②令和4年8月26日（金）10:00～12:00（参加者20人）

テーマ「災害から子どもを守るには」講師：あんどうりす（子育て世代向け防災アドバイザー）

「楽しくすぐに実践したくなる、毎日の生活を充実させるヒントがたくさん」など日頃から生活の中で簡単にでき楽しく、気軽にできる防災をお伝えしていただきました。

成果・効果：今までの防災講座とは違う観点からのお話が多く、知識を入れて満足するのではなく、常に最新の情報を入手し、それが本当に正しい情報なのか確かめることが大事だと知りました。防災グッズは買って満足ではなく使ってみる、正しい活用方法を知り、根拠やメカニズムを知ることによって代用や応用ができる。今回のなるほど！がこの場だけで終わらないように実践した感想や、ここから広がる知識をメンバー間で共有して深めていきたいと思いました。



2. 地域の防災訓練や子育て支援機関へ出張講座の開催（講師は親子防災部のメンバー）

①岸和田災害ボランティアネットワーク会議への出席（コロナ禍のため訓練が縮小され会議のみ参加。

その際にきしわだ親子防災部ノート配布）

②岸和田市子育て支援部会にて話をする機会をいただく。その際に親子防災部ノートを配布。（各、公立幼稚園へ配布）

③親子ひろば「こいこ」のママさん向けにバッククッキング&防災リュックの紹介交流会を開催。（親子8組）

切干し大根とコーン缶・ツナ缶とあえて簡単にでき、白米はお鍋でできることでママさんたちからは好評でした。

成果・効果：子どもたちと一緒に災害時の備えについて楽しく啓発することができました。

3. 地域のイベントでの啓発ブースの設置

①令和3年10月30日・31日（土・日）10:00～16:00（7名・一般参加者：延べ500人）

F Mコミュニティラジオ「ラヂオあしわだイベント」に岸和田市危機管理課・婦人防火クラブとで防災コーナーのブース。救犬ジャパンの団体と一緒にブースを出す。親子防災部は、防災リュック・ポーチの展示、親子防災部の活動のパネル展示。

②令和4年4月30日（土）10:00～16:00（6人・参加者：延べ200人）

カンカンベイサイドモール「こどもの日」イベントに防災ブースを出しバッククッキングの美食や防災リュック・ポーチの展示をする。

③令和4年9月23日（金）の防災フェスタが雨のため中止。25日（日）代替日として防災交流会を開催。地域の婦人防火クラブの方も参加していただき一緒にバッククッキングや防災についていろんな意見を出し合いながら交流しました。

成果・効果：コロナ禍の中でのイベントや雨で中止の防災フェスタなど、なかなか思い通りに開催することができなかったのが残念でした。しかし創意工夫をしながらかでも地域の人たちの交流や出会いもありとても有意義な期間でした。



4. 団体メンバーのスキルアップ研修の開催

内泊研修①令和3年11月29日（月）・②12月21日（火）10:00～12:00

「災害が起きた時に自分たちは」「話したことを具体的にしていこう」講師：青山織衣（コミュニティワーカー）

内泊研修③令和4年9月2日（金）10:00～12:00「あべの防災部との交流会&勉強会」講師：益田沙希子

成果・効果：災害が起きた時、どう動くかなど「マイ・タイムライン」を作成し、実践的に動きをシミュレーションすることの大事さを実感しました。

5. 企画会議の開催回数：8回 延べ参加人数：67人

内容：・主催セミナー、出張講座の企画・最新の防災・減災に関する情報の共有・メンバー同士の防災・減災活動に関する意見交換など定例会で話し合いました。

成果・効果：防災は知識を得る受け身のスタイルが多いので、みんなの考えや気づきを出していくのは楽しいし、頭の整理にもなりました。子育て世代ならではのリアルな意見が多く、同じ世代で話し合う大切さを感じました。

3. 課題分析や今後の発展性

コロナ禍の中、地域でのイベントが軒並み中止になっているため、PRする機会がなくなりました。そこで地域の防災関係の団体と防災フェスを企画しましたが、あいにくの雨で中止となりました。それまで打ち合わせなどで顔を合わせ交流することでつながりの輪が広がったことはとても良かったです。今回の助成事業では、ベーシックな防災活動にとどまらず、自分たちの住んでいる地域の独自性を活かした取り組みを今後も広げて行きたいと思います。

4. 代表者又は担当者からのひとこと

若い世代へ、重要だとわかっていながら重い腰をあげることができない防災について、「楽しく学び、賢く備え、自分で考え行動する防災を！」日常の延長にある防災を目指しながら、地域へつながりを広げていくサポートをしていきたいと思っています。